



子どもの本や、子どもの読書活動に関する県内外の情報をお届けします！

山梨県子ども読書支援センター（県立図書館内） TEL 055-255-1040 <https://www.lib.pref.yamanashi.jp/>

○県内図書館活動紹介○

甲府市立図書館

子ども向け読書記録「マイブックメモリー」

甲府市立図書館で2021年7月から配布が始まった、子ども向け読書記録「マイブックメモリー」について、担当者に伺いました。

＜「マイブックメモリー」とは？＞

甲府市立図書館では、貸出の際に本の情報を載せたジャーナルというシート状の用紙を渡しています。マイブックメモリーは、そのジャーナルを貼り付けて読書記録にするノートです。読書後の感想を残し、読んだ本を振り返る時間をもってもらいたいと思い作成しました。

心に残った本のタイトルを記入し、感想を書く欄を添えました。お好みの用紙で、オリジナルのマイブックメモリーを作ることができます。図書館のマナーや利用方法も載っています。

SDGsへの取り組みとして、いらない紙を追加してページを増やせるとともに、貸出期間後は不要になるジャーナルも、情報を記録する用紙として活用できる仕組みになっています。

＜以前から配布していた「読書記録ノート」との違いは？＞

読書記録ノートはホチキスによる中綴じでしたが、マイブックメモリーは綴具に紙製ホルダーを使うなど、環境に配慮した仕様になりました。本の情報を自分で書き込むのではなく、ジャーナルを利用することで小さな子どもでも簡単に記録できます。また、本を読んだ時の気持ちを表情にしたマーク欄も作り、読後感を記録できるようにしました。



ページにはチラシなどを使っても◎

＜活用方法は？＞

世界に1つ、自分だけのオリジナルのマイブックメモリーを作って、読書の思い出を記録してください。また、保護者の方は、お子さんの読書記録としてご利用ください。

マイブックメモリーの使い方についてのYouTube動画も公開しています。こちらも併せてご利用ください。

「マイブックメモリー」は、甲府市立図書館2階児童室で配布しているほか、ホームページからダウンロードできます。（甲府市立図書館 〒400-0861 山梨県甲府市城東1丁目12番33号 <https://libnet.city.kofu.yamanashi.jp/lib/>）



マイブックメモリーの紹介展示の様子

○気になるピックアップ

電子書籍のご紹介

山梨県立図書館では、電子書籍を提供しています。新型コロナウイルス感染拡大を受けて、来館せずにインターネット上で借りられる電子書籍を充実させ、2021年度には新たに約1300点が利用可能になりました。児童書では、『100万回生きたねこ』などの絵本をはじめ、読み物や、調べ学習に使える知識の本も利用できます。『はだかのおうさま』や『アラジン』などの童話をさまざまな言語で読み、聞くことができる音声付きコンテンツも多数そろえています。

利用カードをお持ちで、インターネットサービスのご登録があれば、3点まで借りることができます。貸出期限は15日間です。ぜひご利用ください。



山梨県立図書館の電子書籍サイト

URL : <https://www.d-library.jp/YMNS/g0101/top/>

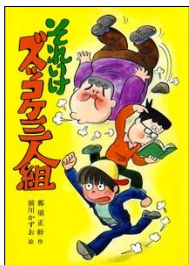
追悼

児童文学界に大きな功績を残し、2021年に亡くなられた2人の作家について、ご紹介します。

〈那須正幹さん〉

「ズッコケ三人組」シリーズなどで知られている児童文学作家。1942年に広島県で生まれ、3歳のころに原爆を経験しました。『折り鶴の子どもたち』など、自身の戦争体験をもとに、平和への願いを込めた作品も多く残しています。2021年7月22日にこの世を去りました。

〈代表作紹介〉



『それいけズッコケ三人組』

那須正幹作 前川かずお絵 ポプラ社

1978年に刊行された、「ズッコケ三人組」シリーズの1作目。ハチベエ、ハカセ、モーちゃんという個性豊かな3人の小学6年生が活躍する、5つのお話です。

「ズッコケ三人組」シリーズは、2004年まで全50巻刊行され、2000年に巖谷小波文芸賞、2005年に日本児童文学者協会賞特別賞を受賞しました。今も多くの子どもたちの支持を集める大人気シリーズです。

〈略歴〉

- 1972年 最初の単行本『首なし地ぞうの宝』を刊行。
- 1989年 『ぼくらの地図旅行』で絵本につぼん賞受賞。
- 1994年 『さぎ師たちの空』で路傍の石文学賞を受賞。
- 1995年 『お江戸の百太郎 乙松、宙に舞う』で日本児童文学者協会賞を受賞。
- 1996年 『絵で読む広島原爆』で産経児童出版文化賞を受賞。
- 2000年 『ズッコケ三人組のバック・トゥ・ザ・フューチャー』で野間児童文芸賞を受賞。
- 2007年 日本児童文学者協会会長に就任(2012年まで)
- 2012年 『ヒロシマ』三部作で日本児童文学者協会賞を受賞。
- 2019年 JXTG児童文化賞を受賞。

(参考:『ズッコケ三人組の大研究』、『ズッコケ三人組の大研究Ⅱ』、『ズッコケ三人組の大研究 ファイナル』石井直人、宮川健郎編 ポプラ社、「日本児童文学」2022年3・4月号 日本児童文学者協会、『文学賞受賞作品総覧 児童文学・絵本篇』日外アソシエーツ編 ほか)

〈エリック・カールさん〉

アメリカの絵本作家。ドイツのシュトゥットガルトの美術学校で学び、ニューヨークでフリーのイラストレーターとして活躍しました。その後、絵本作家として『はらぺこあおむし』や『パパ、お月さまとって!』など、コラージュを利用した、色彩豊かでしかけが楽しい絵本を多数出版しています。2021年5月23日に亡くなりました。

〈略歴〉

- 1929年 アメリカ・ニューヨークで、ドイツ人の両親のもとに生まれる。
- 1967年 ビル・マーチン作『くまさんくまさんなみてるの?』の挿絵を担当。絵本作家としての活動を始める。
- 1968年 最初の自作絵本『1, 2, 3 どうぶつえんへ』を刊行。ポローニャ国際児童図書展グラフィック大賞を受賞。(1970年)
- 1969年 『はらぺこあおむし』を刊行。
- 2002年 アメリカ・マサチューセッツに、エリック・カール絵本美術館を設立。
- 2003年 アメリカ図書館協会のローラ・インガルス・ワイルダー賞を受賞。

(参考:『エリック・カール 絵本の世界』伊藤元雄編 ブックグローブ社、『はじめて学ぶ英米絵本史』桂宥子編著 ミネルヴァ書房、『世界の絵本画家たち』ちひろ美術館編 講談社、偕成社「エリック・カールスペシャルサイト」<https://www.kaiseisha.co.jp/special/ericcarle/>)

〈代表作紹介〉



『はらぺこあおむし』

エリック・カールさく もりひさしやく 偕成社

ある朝、あおむしがたまごからかえりました。おなががぺこぺこなあおむしは、食べるものを探し始めます。

カラフルでおいしそうな食べ物や、美しい蝶の姿が魅力的です。穴の開いたしかけや、大きさの違うページの工夫が楽しい絵本です。60以上の言語に翻訳され、世界中で愛され続けています。